

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	9,400,000株	2020年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	199,579株	2020年3月期	200,179株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	9,200,054株	2020年3月期2Q	9,199,758株

(注) 当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、期末自己株式数には、信託に残存する自社の株式（2021年3月期第2四半期 14,253株、2020年3月期 14,853株、2020年3月期第2四半期 14,853株）を含めております。また、期中平均株式数は当該信託が保有する株式を考慮して計算・記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症問題により、政府より緊急事態宣言が発出され、外出自粛や休業が広がる等、経済活動が大きく制限される環境下にあります。また、緊急事態宣言解除後も新型コロナウイルス感染症問題が継続する中で、感染拡大防止と経済活動を再び拡大していくことの両立が課題となっております。また、世界経済においても、新型コロナウイルス感染症問題の影響は大きく、経済活動の制限等により、多くの国でGDP成長率がマイナスとなる等、全世界的に経済に大きく影を落としております。終息時期の予測も難しく、先行きが不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、緊急事態宣言下での飲食店の休業や感染予防による外食控えの影響等により、家計における内食が増加する等、大きく市場環境が変化しております。また、食を提供するインフラの役割として、これまで以上に安全・安心を前提とした安定的な事業継続が求められています。

このような状況下、当社グループは、状況に応じた出張等の制限、工場見学の停止、テレワーク勤務の導入、従業員に対する検査への補助等、感染症拡大を防ぐ取組を行う中で、厳格な生産管理体制のもと、安定的な製品供給の確保に注力しました。また、在宅機会や内食の増加等に向けて、WEB広告施策を強化する等、市場環境の変化への対応にも取り組んでおります。

なお、5月に策定しました中期経営計画「ONE K a d o y a 2025」につきましては、新型コロナウイルス感染症問題により不確実な状況ではありますが、変革と挑戦という思いのもと、「事業戦略」、「経営基盤の再構築」に関する施策や「持続可能な社会実現に向けた取組（SDGsを意識した経営）」に対して取組を進めております。

ごま油におきましては、家庭用は、内食の増加の影響等により、販売数量は前年同期に比べ増加しました。一方で、業務用は、外食産業向けの販売が落ち込み、販売数量は前年同期に比べ減少しました。また、輸出用は、国内と同様に新型コロナウイルス感染症問題の影響を受け、外食産業向けの販売が落ち込み、販売数量は前年同期に比べ減少しております。以上により、ごま油全体の販売数量は前年同期比97.1%、販売金額は前年同期比103.1%となりました。

食品ごまにおきましても、ごま油と同様の傾向にあり、家庭用の販売数量は前年同期に比べ増加したものの、業務用の販売数量が落ち込み、食品ごま全体の販売数量は前年同期比90.5%、販売金額は前年同期比96.4%となりました。

一方、コスト面におきまして、売上原価は、袖ヶ浦工場が前期2月に完成したことに伴う減価償却費の大幅な増加等により、前年同期比107.2%となりました。また、販売費及び一般管理費は、家庭用の販売促進費の使用減等により前年同期比95.4%となりました。

この結果、第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高17,750百万円（前年同期比260百万円増）、経常利益は2,013百万円（前年同期比261百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,359百万円（前年同期比196百万円減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ごま油事業

ごま油事業におきましては、家庭用は、新型コロナウイルス感染症問題の影響による家計における内食の増加等に伴う需要増により、販売数量は前年同期に比べ増加しました。また、内食需要の高まりに向けて、SNSを含むWEB施策を強化する等、環境に対応した広告施策を展開しております。

業務用は、家庭用製品を取り扱う加工ユーザー向けが堅調に推移したものの、緊急事態宣言下での飲食店の休業や感染予防による外食控えの影響等から、外食産業向けの販売が落ち込み、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

また、輸出用は、主力である北米市場においても新型コロナウイルス感染症問題の影響が大きく、小売店向けの小容量品の販売等が堅調に推移したものの、飲食店における店内飲食禁止等の措置や外食に対する敬遠が広がる等、外食産業向けの需要が減退し、販売数量は前年同期に比べ、減少しております。

一方、コスト面では、売上原価は、袖ヶ浦工場が前期2月に完成したことによる減価償却費の大幅な増加や労務費等の固定費の発生等により、前年同期に比べ増加しました。また、販売費及び一般管理費は、家庭用における販売促進費の使用減等により、前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、売上高は13,341百万円（前年同期比404百万円増）、セグメント利益は1,537百万円（前年同期比237百万円減）となりました。

②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、ごま油事業と同様に、家庭用は、新型コロナウイルス感染症問題の影響による家計における内食の増加等に伴う需要増により、販売数量は前年同期に比べ増加しました。また、業務用は、外

食産業向けの販売が落ち込んだ上、ねりごまにおける総菜向け需要の他、加工ユーザー向けの需要も減少したこと等により、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

一方、コスト面では、売上原価は、販売数量の減少等により前年同期に比べ減少しました。また、販売費及び一般管理費は、営業活動の制限に伴う旅費交通費等の経費使用減等により、前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、売上高は4,348百万円(前年同期比160百万円減)、セグメント利益は406百万円(前年同期比24百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ169百万円増加しました。これは現金及び預金が1,551百万円、有形固定資産が547百万円減少するなどの減少要因があったものの、原材料及び貯蔵品が2,095百万円、受取手形及び売掛金が545百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ304百万円減少しました。これは短期借入金が増加するなどの増加要因があったものの、支払手形及び買掛金が606百万円、未払金が541百万円、賞与引当金が271百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ474百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益1,359百万円計上と配当金の支払い1,013百万円の加減算により利益剰余金が345百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、2020年5月14日付当社「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました2021年3月期の通期の業績予想を修正しております。詳細は本日(2020年11月6日)別途公表の「2021年3月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,004	2,452
受取手形及び売掛金	6,789	7,335
商品及び製品	1,626	1,839
仕掛品	1,150	1,225
原材料及び貯蔵品	5,867	7,963
その他	1,117	493
流動資産合計	20,555	21,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,292	5,361
機械装置及び運搬具(純額)	5,799	5,340
その他	3,606	3,448
有形固定資産合計	14,698	14,150
無形固定資産	418	402
投資その他の資産	2,683	2,663
固定資産合計	17,800	17,216
資産合計	38,355	38,525
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,321	2,714
短期借入金	2,000	3,000
未払法人税等	256	578
賞与引当金	562	291
役員賞与引当金	157	27
その他	1,974	1,390
流動負債合計	8,272	8,001
固定負債		
退職給付に係る負債	1,607	1,563
役員株式給付引当金	21	21
資産除去債務	174	181
その他	239	242
固定負債合計	2,042	2,009
負債合計	10,315	10,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,067	3,067
利益剰余金	23,349	23,695
自己株式	△1,379	△1,376
株主資本合計	27,197	27,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	837	982
繰延ヘッジ損益	23	2
退職給付に係る調整累計額	△18	△17
その他の包括利益累計額合計	842	967
純資産合計	28,039	28,514
負債純資産合計	38,355	38,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	17,490	17,750
売上原価	10,210	10,954
売上総利益	7,280	6,795
販売費及び一般管理費	5,050	4,819
営業利益	2,229	1,976
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	16
為替差益	14	—
投資有価証券売却益	—	17
受取保険金	22	—
雑収入	6	11
営業外収益合計	59	45
営業外費用		
支払利息	0	2
支払手数料	5	5
為替差損	—	0
災害による損失	7	—
雑損失	1	1
営業外費用合計	14	9
経常利益	2,274	2,013
特別利益		
固定資産売却益	6	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産除売却損	4	5
特別損失合計	4	5
税金等調整前四半期純利益	2,277	2,007
法人税、住民税及び事業税	663	526
法人税等調整額	57	121
法人税等合計	721	648
四半期純利益	1,556	1,359
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,556	1,359

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,556	1,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	145
繰延ヘッジ損益	2	△21
退職給付に係る調整額	—	0
その他の包括利益合計	△5	124
四半期包括利益	1,550	1,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,550	1,484
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,277	2,007
減価償却費	364	902
賞与引当金の増減額(△は減少)	△73	△271
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△146	△129
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	49	△43
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	5	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△16	△16
受取保険金	△22	—
支払利息	0	2
支払手数料	5	5
為替差損益(△は益)	2	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△17
有形固定資産除売却損益(△は益)	△2	5
売上債権の増減額(△は増加)	684	△545
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,641	△2,383
その他の資産の増減額(△は増加)	△174	563
仕入債務の増減額(△は減少)	△718	△740
その他の負債の増減額(△は減少)	△658	△130
小計	△64	△793
利息及び配当金の受取額	67	16
利息の支払額	△0	△2
支払手数料の支払額	△4	△4
保険金の受取額	22	—
法人税等の支払額	△628	△119
営業活動によるキャッシュ・フロー	△608	△903
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	—	53
有形固定資産の取得による支出	△3,788	△648
無形固定資産の取得による支出	△60	△63
有形固定資産の除却による支出	△13	△2
有形固定資産の売却による収入	7	0
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	1	0
保険積立金の積立による支出	△14	△13
保険積立金の解約による収入	34	35
その他	△0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,837	△638
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	2,000	1,000
リース債務の返済による支出	△1	△0
自己株式の処分による収入	0	3
配当金の支払額	△1,103	△1,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	895	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,550	△1,551
現金及び現金同等物の期首残高	5,640	3,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,090	2,437

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,936	4,508	17,445	44	17,490
計	12,936	4,508	17,445	44	17,490
セグメント利益	1,774	431	2,205	23	2,229

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,205
「その他」の区分の利益	23
四半期連結損益計算書の営業利益	2,229

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,341	4,348	17,689	60	17,750
計	13,341	4,348	17,689	60	17,750
セグメント利益	1,537	406	1,943	32	1,976

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,943
「その他」の区分の利益	32
四半期連結損益計算書の営業利益	1,976

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。